

スクラムを組んで!

## 道徳講演会



寄居町青少年  
健全育成町民会議

会長 加藤 勝己

昨年度から引き続き、会長として寄居町青少年健全育成町民会議の活動に取り組まさせていただきます。寄居町青少年健全育成町民会議は、次代を担う子どもたちが、健やかに成長することを願い、家庭・学校・地域が一体となって活動に取り組んでいる団体です。

今年度も昨年度同様、新型コロナウイルスの影響により、地域交流を図る活動が思うように行えませんでした。しかし、このような状況下でも学校のご協力をいただき、今までと違うスタイルで「道徳講演会」を実施することができました。夏休み前から、講師である「株式会社RDS 代表取締役社長 杉原行里氏」にインタビューを行い、学校の先生方の手で道徳教材を作成し、講演会に参加する児童生徒全員に対し、この教材を用いた授業を実施していただきました。杉原氏のパラリンピック出場選手にかけた思いや車いす製作に取り組む姿勢を授業で学んだ後の講演会でしたので、子どもたちは今まで以上に興味を持って講師の話が聴くことができたと思います。杉原氏は東京2020パラリンピックで使用した競技用車いすを製作し、その過程で得た技術を活用し、一般の車いす開発に取り組まれるなどさまざまなことにチャレンジされているとてもバイタリティのある方と伺っております。この講演を聴いた児童生徒に、大きな刺激を与えてくださったと思います。今回は残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初予定していた男衾中学校での講演会が行えず、杉原氏がカメラの前で話す様子を各学校にオンライン配信し、それを視聴する形になりました。新型コロナウイルスの影響を受け、講演会直前での変更点が多かったにもかかわらず快くご対応いただいた杉原氏はじめ各学校の先生方、心より感謝申し上げます。

また、昨年度から取り組んでおります「ほめ写プロジェクト」ですが、昨年度はPTAの役員の方々にご協力をお願いして実践していただきました。実践した保護者からは「子どもとの会話が增えた」、「子どもが積極的になった」等のご報告をいただき手応えを感じました。今年度は小学校の全部のご家庭へお子さんを通じてほめ写の実践を促すチラシを配布いたしました。お子さんの写真を飾ってほめるという、とても手軽に実践できることですので、ぜひ実践してみてください。本事業は、お子さんと保護者のコミュニケーションを深め、お子さんの自己肯定感を高めるのに有効な事業であると思っております。来年度も引き続き取り組んでいただけたらと考えております。

さて、新型コロナウイルス感染拡大につきまして、未だ予断を許さない状況ではありますが、来年度こそは地域の皆様と子どもたちの交流の機会がありますことを願っております。

## 夢は叶う・感謝の気持ち



男衾地区  
青少年健全育成協議会

会長 杉山 保

はじめに、男衾地区青少年健全育成協議会は昭和58年に発足し地元多くの団体等により組織され現在会員数100名を超える会であります。主な活動として学校応援団による各種のサポート、登下校時の見守り、男衾駅での非行・被害防止特別強調月間キャンペーン、教育講演会、各種全国大会出場選手に対する報奨金などを通じて児童・生徒の健全育成を図っています。また、関係会員のみならず「子供110番の家」の登録件数は195件を数えており地域の皆様のご理解・ご協力のもと地域ぐるみで子どもたちの安全・安心を守っています。

さて、2021年は東京2020オリンピックにおいて、男衾小・中学校の卒業生の新井千鶴さんが、女子柔道個人70Kg級で金メダル、団体戦で銀メダルという栄光に輝きました。なかでもマディナ・タイムゾフ選手との16分41秒にわたる激闘において最後まで諦めないという姿には多くの感動を覚えました。東京オリンピックから3カ月が過ぎた日に新井千鶴さんが母校の男衾中学校を訪問してくださいました。新井千鶴さんから「夢はあきらめなければ必ず叶います」、「続けることが大切です」、「チャレンジする気持ちと、感謝することを絶対に忘れないください」(男衾中学校学校だよりから)とお話をしてくださったそうです。柔道家として決して順風満帆で勝ち取った栄光ではなかっただけに、新井千鶴さんのお話は児童・生徒たちに多くの夢と希望を与えてくださいました。「新井千鶴選手のあきらめない姿がカッコよかったです。私も新井千鶴選手のような努力をし続けるような人になりたいです」(男衾小学校「希望の空」から)新井千鶴さん誠にありがとうございます。そしてありがとうございました。

また、「郷土男衾 心あたまるいい話」の第2刊を刊行することができました。児童・生徒からの作文、絵画、短歌、メッセージやたくさんの方からの寄稿文からなり、児童・生徒から父に、母に、祖父母に、医療従事者の皆様に、お友達に、先生に、兄弟姉妹に、地域の人々にと感謝の気持ちがいっぱい寄せられました。読んでいるととても心があたまります。

ウィズコロナ時代で世の中は大きく変革するといわれています。これからは私たち大人も自分たちの尺度、物差しだけで子どもたちに接するだけでは通用しない時代になっています。私たち大人も現代の尺度、物差しで接するための努力が課せられているのではないのでしょうか。

ある新聞に興味深い記事がありました。「人の役に立ちたい住民が多い地区ほどコロナの死亡率が低かった、人情は感染にも効くらしい」と。男衾地区青少年健全育成協議会がこれからも少しでも子どもたちに役立つことができれば幸いです。

## スクラムを組んで!

### 寄居町青少年健全育成町民会議

寄居町青少年健全育成町民会議では、青少年の健全育成を広域的、総合的に推進するために、町内の学校やPTA、民生委員・児童委員などの青少年と関係する団体・機関と連携して、活動を展開しています。

今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、中止せざるを得ない事業が多かった中で実施した活動について報告します。

#### 青少年の非行・被害防止特別強調月間キャンペーン (7月)

例年は町内3中学校区の健全育成協議会と共に、町内の駅前等でキャンペーン活動を行っていましたが、今年度も新型コロナウイルスの影響で、昨年度と同様に男衾中学校区健全育成協議会のみで実施しました。実施に当たっては、感染防止対策のため手指消毒を徹底、マスクと手袋を着用して啓発物の配布を行い、近年増加している青少年のインターネットを介した犯罪被害の防止を呼び掛けました。



■男衾駅構内でのキャンペーン

#### 道徳講演会 (1月)

道徳講演会は「道徳のまち・寄居」の実現を目指し、心のつながりを大切にしたい地域づくりを目的に開催している事業です。今年度は、社会で広く活躍され、町にゆかりのある方に焦点を当てた道徳教材を作成し、その道徳教材を用いて町内小・中学校で授業を実施、その後、講師としてその方を招き道徳講演会を開催することとしました。講演会は、男衾中学校で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、オンラインによる講演となりました。

講師の杉原行里氏が代表取締役社長を務める株式会社RDSは、昭和59年3月、寄居町赤浜にスタジオを設立。世界最軽量のドライバーボン松葉杖を開発して、2013年度グッドデザイン賞を受賞しました。また、東京2020パラリンピック陸上競技では、現役を引退していた伊藤智也選手に現役復帰を説得し、パラリンピックで使用した競技用車いすの製作に携わるなど、伊藤選手の活躍を影で支えてきた方でもあります。

講演会当日は、町立小学校5、6年生と町立中学校全学年の生徒約1,200人が杉原氏の講演を視聴しました。

講演を視聴した子どもたちは、杉原氏の困難な道に果敢に挑戦し続ける前向きな姿勢に、たくさん刺激を受けることができたようです。



■道徳講演会をオンラインで視聴する男衾中学校の生徒

#### ほめ写プロジェクト

昨年度から始めた「ほめ写プロジェクト」は、子どもの写真を飾ることで「子どもをほめる」機会を創出し、ほめることで子どもの自信のもととなる自己肯定感を伸ばすことを目的としています。昨年度実践していただいた保護者の方からは「子どもたちとの会話が增えた」、「子どもが前向きになった」などの好結果の感想をいただきましたので、今年度も継続していくことになりました。昨年度は、試行的にPTA役員を中心に実践を呼び掛けましたが、今年度は町立小学校の全保護者に呼び掛けを行いました。保護者の皆さんの負担を考え、報告書の提出は求めませんでしたが、ほめ写に興味を持って実践された保護者からは「意識して子どものよい点を見るきっかけになった」、「写真を家族に見えるように貼り出すことで祖父との会話のきっかけになった」、「プチ反抗期の子どもだが、ほめられて素直にうれしそう表情をしていた」、「子どもが自身の成長を自覚し、自信がついたようだ」などの声が届いています。これからも多くの家庭で実践していただくよう、引き続き周知に努めていきます。



■道徳講演会役会場場の様子